

平成20年10月7日

各位

会社名 株式会社レナウン
代表者 代表取締役社長 中村 実
(コード番号 3606 東証第一部)
問合せ先 経営企画室広報担当部長
伊東 甲二
(TEL: 03-5496-8485)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年4月15日に公表いたしました平成21年2月期中間の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 21年2月期中間業績予想数値の修正（平成20年3月1日～平成20年8月31日）

(連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	81,400	△3,000	△3,100	△3,900
今回修正予想(B)	78,600	△4,400	△4,100	△4,100
増減額(B-A)	△2,800	△1,400	△1,000	△200
増減率(%)	△3.4	—	—	—

(単体)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	40,300	△2,200	△2,200	△2,400
今回修正予想(B)	38,900	△3,100	△2,800	△2,400
増減額(B-A)	△1,400	△900	△600	—
増減率(%)	△3.5	—	—	—

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値が異なる可能性があります。

2. 修正の理由

連結業績につきましては、レナウン単体において市況影響を受け春夏物商戦が低調に推移し前回予想の売上高を下回る見込みであります。正価販売売上減少に伴い割引販売売上増加により営業利益・経常利益も前回予想を下回る見込みであります。加えて主要子会社においても市況影響より低調に推移し、同様に売上高・営業利益・経常利益につきましては、前回予想を下回る見込みであります。なお、レナウン単体において構造改革費用戻し入れ益約600百万円等を特別利益として計上する予定であります。

以上から、当社の中間業績予想を標記のとおり修正いたします。

3. 今後の見通し

今後の施策として、期初に掲げた構造改革（雇用調整も含む）を実施する方向で検討を進めております。当該内容については、正式に決定し次第、別途開示をいたします。

以 上